



概要

本町の公共交通機関は、鉄路はJR根室本線の2駅があり、他に路線バスの帯広陸別線、スクールバスの混乗便が運行されている。路線バスの帯広陸別線は町内の主要幹線のみでの運行であり、スクールバスの混乗便の運行は一般住民にとって利用しやすい時間帯に合致していない。川と鉄路で分断されている市街地と、広域に分散した農村部という地勢的制約もあることから、居住地から外出の際の目的地(金融機関、公共機関、医療機関、商店・スーパー等)までの距離が離れている住民が多く、少子高齢化の進展とも相まって、自家用車での移動ができない住民は、日常生活にさえも不便と不安を感じている状況にあるため、新しい生活交通の検討が必要とされている。

○地域公共交通の現況

- ・JR根室本線(池田駅、利別駅)
- ・十勝バス(株)(帯広陸別線1路線)
- ・スクールバス(8路線のうち7路線が混乗便)

○地域公共交通の課題

- ・地域間幹線系統である帯広陸別線の利用率低下による財政負担増
- ・一般住民が利用しづらいスクールバス混乗便
- ・少子高齢化や核家族化による老人世帯の増加

○調査の主な内容

- ・現況調査(人口、交通流動等)
- ・交通に関するニーズ調査(住民アンケート、既存公共交通、コミバス試験運行)

○地域公共交通確保維持改善協議会開催状況

- ・平成24年3月27日 第1回協議会を開催
主な協議事項：協議会規約の制定等
- ・平成24年8月3日 第2回協議会を開催
主な協議事項：生活交通ネットワーク計画策定調査業務委託について等
- ・平成24年9月4日 第3回協議会を開催
主な協議事項：コミバス試験運行について等
- ・平成24年12月26日 第4回協議会を開催
主な協議事項：各種調査報告、第二次コミバス試験運行について等
- ・平成25年3月28日 第5回協議会を開催
主な協議事項：第二次コミバス試験運行結果と調査事業の評価について等



池田町地域公共交通確保維持改善協議会 調査事業の取組状況

●調査事業の結果概要

- ・現況調査
人口(現況・予測)把握、就業者・通学者移動調査、公共交通の現況調査、バス乗降調査、新たな公共交通事例調査などをおこなった
- ・交通に関するニーズ調査
住民アンケート調査、既存バス、スクールバスの利用状況調査、試験運行時の実証調査などをおこなった
- ・町内事業所等へのヒアリング調査
町内事業所等へのヒアリング調査をおこなった
- ・池田町生活交通ネットワーク計画の素案検討
新たな交通システムの導入検討、スクールバス運行体系再編の検討、既存路線バスの利用促進策の検討、事業収支・将来像の検討などをおこなった

●調査事業実施の適切性

各事業内容が適切に実施され、ネットワーク計画策定に繋がる調査ができた

●生活交通ネットワーク計画等の計画策定に向けた方針

今回の調査事業の結果に基づいた計画素案を基に、池田町生活交通ネットワーク計画を策定する。運行形態について引き続き検証を重ね、町内全域で新しいフィーダーシステムを導入する。平成27年度(平成26年10月～)地域内フィーダーシステム確保維持費国庫補助金を申請予定。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

次に掲げる点について、アドバイスする。

・調査結果に基づく新たな交通システムの導入検討に当たっては、地勢的制約に応じた最適な手段が導入できるよう、道外も含めた類似事例の収集や、実際に利用する可能性が高い人を対象にしたニーズ調査とその結果を緻密に分析した上での導入シミュレーション、実証調査等を綿密にされたい。またその際、既存の路線バス、スクールバス等との役割分担や乗り継ぎ円滑化に留意されたい。